

日本雅楽会第六十回

雅楽公演



令和六年十月二十二日(火)

昼の部 十四時開演

夜の部 十八時半開演

新宿区立四谷区民ホール

第一部 管絃 双調 音取

武徳楽 柳花苑

第二部 舞楽 桃李花 登殿楽

落蹲 長慶子

チケット：全席自由 3,000円

お申込み・お問合せ：日本雅楽会 <https://nihongagakukai.gr.jp>

日本雅楽会第60回

雅楽公演



多くの皆さまのご支援、ご協力により当会の公演は今年で60回を迎えます。今年、源氏物語「花宴」の巻より「柳花苑」、「蛩」「若菜上」「若菜下」の巻に登場する舞楽「落躑」を、その他に番舞として「桃李花」と「登殿楽」を演目といたしました。

「落躑」は二人で舞うときは「納曾利」と呼び、別名は「双竜の舞」。龍が遊び戯れるさまを現したリズムカルな舞です。

平安の優美な世界を少しでも感じていただけましたら幸いです。

雅楽は、一般的には管絃と舞楽の演奏を指します。管絃とは貴族の教養の一つとして始められた雅楽の演奏方法で、管楽器（笙・篳篥・笛）と絃楽器（琵琶・箏）と打楽器（鞆鼓・太鼓・鉦鼓）との合奏です。舞楽とは雅楽の楽曲を伴奏として舞うものを言います。日本雅楽会は1962年に雅楽の普及と発展を目的に故押田良久氏を会長として発足、雅楽の講習、演奏会の開催、雅楽教室の開催などを行っています。

Gagaku is the oldest surviving music in Japan. It was established in the court in the Heian period (794-1191), and was performed mainly in aristocratic society. The Japan Gagaku Society was organized in the spring of 1962 by people interested in Gagaku, for the purpose of participating in the Fall Music Festival sponsored by the Agency for Cultural Affairs. The Society was awarded prize for outstanding performance at the festival, and has continued giving Gagaku performances since then.

2024年10月22日（火）

昼の部：14時開演（13時半開場）

夜の部：18時半開演（18時開場）

会場：新宿区立四谷区民ホール

曲目：第一部 管絃

双調音取、武徳楽、柳花苑

第二部 舞楽

桃李花、登殿楽、落躑、長慶子

チケット：全席自由 ¥3,000

お申込み：

<https://ws.formzu.net/dist/S199763456/>

